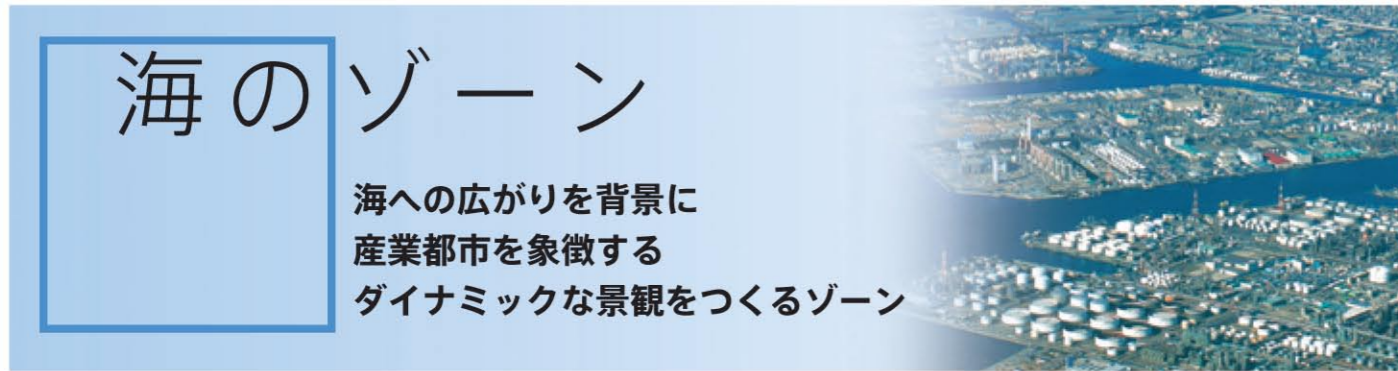


# 4 景観形成方針

## -2 市域の骨格をつくる景観形成方針

本市の景観の骨格となる「景観ゾーン」、「景観軸」及び「都市拠点」の景観形成方針を次のとおり定めます。



### 海のゾーン

海への広がり背景に  
産業都市を象徴する  
ダイナミックな景観をつくるゾーン

- 1 工業・物流系のダイナミックな産業景観を生かした質の高いデザインにより、活力を感じる景観の形成をめざす。
- 2 親水空間のネットワークの形成を図り、海を意識した魅力ある水辺の景観の形成をめざす。
- 3 川崎市臨海部色彩ガイドラインに基づいた色彩計画による、調和のとれた活力のある景観の形成をめざす。
- 4 市街地と海を結ぶ緑のネットワークの形成と工場、物流施設等の沿道の緑化などによる連続的な緑の景観の形成をめざす。
- 5 多摩川などの自然的な資源を大切に景観の形成をめざし、地域らしさを生かした市民の発意による主体的な景観づくりの活動を支援する。
- 6 建築物等の外観の基調となる色彩は、「基本とする色彩」を使用し、海のゾーンにふさわしい調和のとれた景観の形成をめざす。

ただし、川崎市臨海部色彩ガイドラインに基づき策定した色彩計画による場合、素材本来の色彩を活かした自然素材を用いた場合、ランドマーク的な役割がある建築物等を強調する場合、また、一定の街区単位で、色相、明度、彩度のいずれかをそろえ、使用する色彩に共通性をもたせる場合など、良好な景観の形成を図ることができる場合には、基本とする色彩以外を使用できるものとする。

### 基本とする色彩

色相		明度	彩度
R系	OR - 9.9R	-	4以下
YR系	OYR - 9.9YR	-	6以下
Y系	OY - 4.9Y	-	6以下
	5.OY - 9.9Y	-	4以下
その他の色相		-	2以下

※色彩は、日本工業規格JIS Z8721(色の表示方法)に定める「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせで表すマンセル表色系によるものとします。  
※代表する色相のカラーチャートを54ページに示します。



海のゾーンの景観形成方針図

### ゾーンの景観軸及び都市拠点

景観軸	都市拠点
多摩川軸	川崎殿町・大師河原地域
東京湾軸	浜川崎駅周辺地域

1 多摩川の自然や海へとつながる開放感ある河口の景観を生かし、水辺を際立たせる景観の形成をめざす。  
2 多摩川景観形成ガイドラインに基づいた、多摩川とまちが響きあう景観の形成をめざす。

海の潤いを感じる快適な空間の創出により憩いの場を演出するとともに、ダイナミックな産業景観を生かした景観の形成をめざす。

1 羽田空港への近接性や多摩川に面する優れた地域特性を生かし、臨海部の新しい拠点として魅力ある複合市街地の景観の形成をめざす。  
2 多摩川と調和した潤いを感じる景観の形成をめざす。

1 研究開発機能と良好な居住機能等が調和した臨海部の新しい拠点として魅力ある複合市街地の景観の形成をめざす。  
2 市街地から海辺への連続した歩行者空間の創出により、快適で潤いを感じる景観の形成をめざす。



# 水のゾーン

多摩川、二ヶ領用水、小河川などの水辺の景観が平野部の市街地に潤いをあたえるゾーン



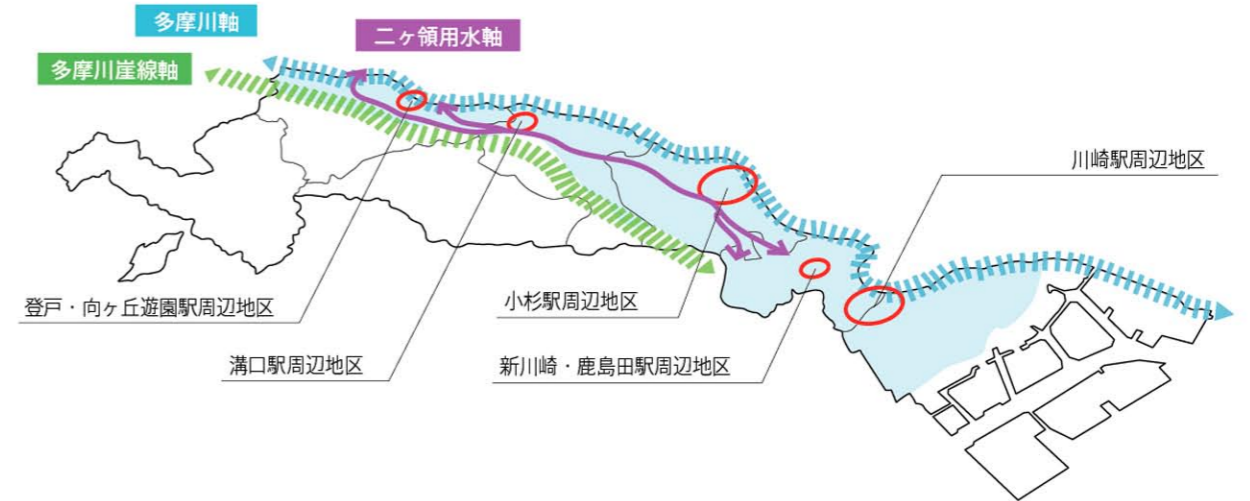
- 1 背景となる多摩川の水辺や丘陵部の緑に映える、潤いや親しみを感じる景観の形成をめざす。
- 2 商店街では、親しみやすく賑わいがある中でも、秩序ある景観の形成をめざす。
- 3 工場と住宅が混在する場所では、働く場と生活の場の調和がとれた景観の形成をめざす。
- 4 河川などの水辺に沿う場所では、水辺空間と調和した景観の形成をめざす。
- 5 農地と住宅が混在する場所では、農地の潤いを生かした景観の形成をめざす。
- 6 大規模な土地利用転換に伴う緑の創出と多摩川、二ヶ領用水、小河川などの水辺空間と調和した緑化などによる効果的な緑の景観の形成をめざす。
- 7 川崎大師などの寺社、旧街道などの歴史的な資源や多摩川、二ヶ領用水などの自然的な資源を大切に景観の形成をめざし、地域らしさを生かした市民の発意による主体的な景観づくりの活動を支援する。
- 8 建築物等の外観の基調となる色彩は、「基本とする色彩」を使用し、水のゾーンにふさわしい調和がとれた景観の形成をめざす。

ただし、複数の調和のとれた色彩をバランス良く配置することによって単一の色彩による圧迫感を軽減するための工夫がなされている場合、素材本来の色彩を活かした自然素材を用いた場合、ランドマーク的な役割がある建築物等を強調する場合、また、一定の街区単位で、色相、明度、彩度のいずれかをそろえ、使用する色彩に共通性をもたせる場合など、良好な景観の形成を図ることができる場合には、基本とする色彩以外を使用できるものとする。

## 基本とする色彩

色相		明度	彩度
R系	OR - 9.9R	8以上	1以下
		3以上8未満	2以下
YR系	0YR - 4.9YR	5以上	2以下
		3以上5未満	4以下
	5.0YR - 9.9YR	8以上	2以下
		5以上8未満	4以下
Y系	0Y - 4.9Y	8以上	2以下
		5以上8未満	4以下
	5.0Y - 9.9Y	3以上5未満	6以下
		8以上	1以下
その他の色相		3以上8未満	2以下
		8以上	1以下

※色彩は、日本工業規格JIS Z8721(色の表示方法)に定める「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせで表すマンセル表色系によるものとします。  
※代表する色相のカラーチャートを55ページに示します。



水のゾーンの景観形成方針図

## ゾーンの景観軸及び都市拠点

景観軸	都市拠点	景観形成方針
多摩川軸		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 多摩川の自然や広がりある開放的な景観を生かし、水辺を際立たせる景観の形成をめざす。</li> <li>2 河川敷での多様な市民活動による賑わいと憩いの場を演出する景観の形成をめざす。</li> <li>3 多摩川景観形成ガイドラインに基づいた、多摩川とまちが響きあう景観の形成をめざす。</li> </ol>
多摩川崖線軸		崖線軸の稜線を大切に、背景となる緑と調和した景観の形成をめざす。
二ヶ領用水軸		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市街地に潤いをあたえる水辺空間を生かした水を親しむ景観の形成をめざす。</li> <li>2 親水整備された水路沿いでは、コモンスペースを意識し、水路の親水性を引き立たせ、潤いある空間が連続する景観の形成をめざす。</li> <li>3 水辺を演出する取り組みや歴史を伝える取り組みなどの多様な市民活動を生かした、幅広い取り組みによる景観の形成をめざす。</li> </ol>
	川崎駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 駅東西の機能分担に合わせた、それぞれの顔にふさわしい魅力と活力ある景観の形成をめざす。</li> <li>2 駅東西の歩行者の回遊による、賑わいと活気のある景観の形成をめざす。</li> </ol>
	小杉駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 小杉駅を中心に、計画的に誘導した高層の建物群により、群としての一体感とそれぞれの建物の個性がバランスよく保たれた新しい景観の形成をめざす。</li> <li>2 既存商店街と新たな商業施設が調和した、秩序と賑わいのある商業景観の形成をめざす。</li> <li>3 多摩川や二ヶ領用水などの景観資源を生かした水と緑の潤いを感じる景観の形成をめざす。</li> </ol>
	溝口駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 商業地として発展してきた特性を生かし、回遊性の高い、商業地の核となる活気のある景観の形成をめざす。</li> <li>2 多摩川崖線の斜面緑地、二ヶ領用水、大山街道などの景観資源を大切に景観の形成をめざす。</li> </ol>
	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 多摩川崖線の斜面緑地を背景として生かすとともに、緑の連続性にも配慮した景観の形成をめざす。</li> <li>2 緑豊かな落ち着いた住宅地や賑わいのある商業地など、区画整理による新たな市街地にふさわしい個性ある景観の形成をめざす。</li> <li>3 多摩川、生田緑地、二ヶ領用水、津久井道などの景観資源を生かした景観の形成をめざす。</li> </ol>
	新川崎・鹿島田駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新たなものづくり・研究開発機能の導入により洗練された景観の形成をめざす。</li> <li>2 複合的な土地利用が調和した、魅力ある景観の形成をめざす。</li> <li>3 二ヶ領用水や加瀬山などの景観資源を生かした潤いある景観の形成をめざす。</li> </ol>



# 緑のゾーン

地形的な変化に富み、  
潤いを与える緑豊かな  
丘陵部の景観をつくるゾーン



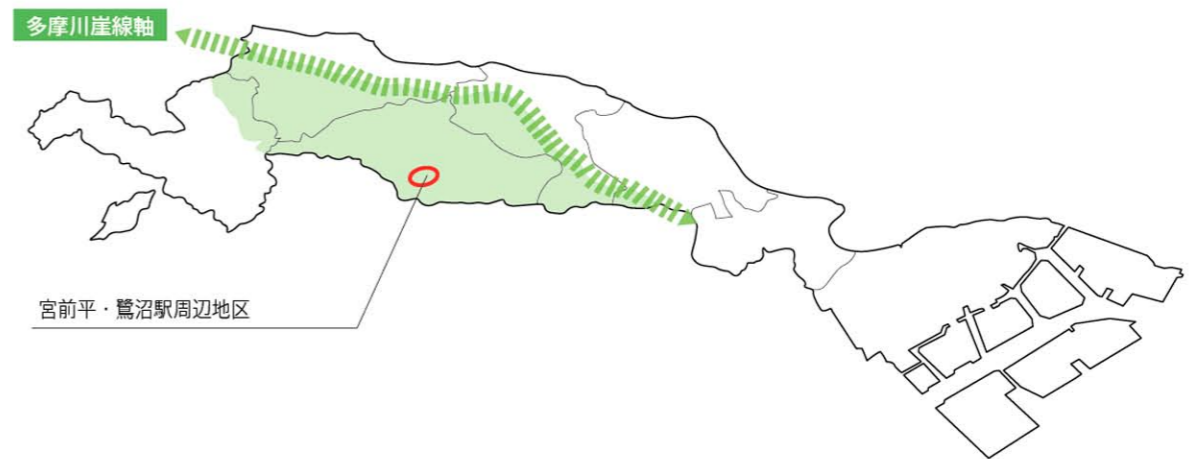
- 1 丘陵部の緑に映える、緑豊かで落ち着きを感じる景観の形成をめざす。
- 2 坂や丘などの起伏を生かした地域らしさを感じる景観の形成をめざす。
- 3 商店街では、親しみやすく賑わいがある中でも、秩序ある景観の形成をめざす。
- 4 河川などの水辺に沿う場所では、水辺空間と調和した景観の形成をめざす。
- 5 農地と住宅が混在する場所では、農地の潤いを生かした景観の形成をめざす。
- 6 地形の変化を生かした緑化による遠景、中景を意識した丘陵部が際立つ緑の景観の形成をめざす。
- 7 寺社などの歴史的な資源やまとまった樹林地などの自然的な資源を大切に景観の形成をめざし、地域らしさを生かした市民の発意による主体的な景観づくりの活動を支援する。
- 8 建築物等の外観の基調となる色彩は、「基本とする色彩」を使用し、緑のゾーンにふさわしい調和のとれた景観の形成をめざす。

ただし、複数の調和のとれた色彩をバランス良く配置することによって単一の色彩による圧迫感を軽減するための工夫がなされている場合、素材本来の色彩を活かした自然素材を用いた場合、ランドマーク的な役割がある建築物等を強調する場合、また、一定の街区単位で、色相、明度、彩度のいずれかをそろえ、使用する色彩に共通性をもたせる場合など、良好な景観の形成を図ることができる場合には、基本とする色彩以外を使用できるものとする。

## 基本とする色彩

色相		明度	彩度
R系	0R - 9.9R	8以上9未満	1以下
		3以上8未満	2以下
YR系	0YR - 4.9YR	5以上9未満	2以下
		3以上5未満	4以下
	5.0YR - 9.9YR	8以上9未満	2以下
		3以上8未満	4以下
Y系	0Y - 4.9Y	8以上9未満	2以下
		3以上8未満	4以下
	5.0Y - 9.9Y	8以上9未満	1以下
		3以上8未満	2以下
その他の色相		3以上9未満	1以下

※色彩は、日本工業規格JIS Z8721(色の表示方法)に定める「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせで表すマンセル表色系によるものとします。  
※代表する色相のカラーチャートを56ページに示します。



緑のゾーンの景観形成方針図

## ゾーンの景観軸及び都市拠点

景観軸	多摩川崖線軸	斜面緑地の緑を大切に、緑と地形の連続性を生かした景観の形成をめざす。
都市拠点	宮前平・鷺沼駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 駅周辺の都市的な商業地と近接する緑豊かな低層の住宅地が調和した地域生活拠点にふさわしい魅力ある景観の形成をめざす。</li> <li>2 地形の高低差が作り出す変化や坂道などの特性を生かした景観の形成をめざす。</li> </ol>

# 農と緑のゾーン

都市近郊に残る農地と  
豊かな緑が調和した  
田園景観の面影が残るゾーン



- 1 農と緑に調和した、のどかな景観の形成をめざす。
- 2 商店街では、親しみやすく賑わいがある中でも、秩序ある景観の形成をめざす。
- 3 河川などの水辺に沿う場所では、水辺空間と調和した景観の形成をめざす。
- 4 農地と住宅が混在する街区では、農地の潤いを生かした景観の形成をめざす。
- 5 農と緑によるのどかな景観を意識した緑化によるまとまりある緑の景観の形成をめざす。
- 6 まとまった農地や樹林地などの自然的な資源を大切に景観の形成をめざし、地域らしさを生かした市民の発意による主体的な景観づくりの活動を支援する。
- 7 建築物等の外観の基調となる色彩は、「基本とする色彩」を使用し、農と緑のゾーンにふさわしい調和のとれた景観の形成をめざす。

ただし、複数の調和のとれた色彩をバランス良く配置することによって単一の色彩による圧迫感を軽減するための工夫がなされている場合、素材本来の色彩を活かした自然素材を用いた場合、ランドマーク的な役割がある建築物等を強調する場合、また、一定の街区単位で、色相、明度、彩度のいずれかをそろえ、使用する色彩に共通性をもたせる場合など、良好な景観の形成を図ることができる場合には、基本とする色彩以外を使用できるものとする。

## 基本とする色彩

色相		明度	彩度
R系	0R - 9.9R	8以上9未満	1以下
		3以上8未満	2以下
YR系	0YR - 4.9YR	5以上9未満	2以下
		3以上5未満	4以下
	5.0YR - 9.9YR	8以上9未満	2以下
		3以上8未満	4以下
Y系	0Y - 4.9Y	8以上9未満	2以下
		3以上8未満	4以下
	5.0Y - 9.9Y	8以上9未満	1以下
		3以上8未満	2以下
その他の色相		3以上9未満	1以下

※色彩は、日本工業規格JIS Z8721(色の表示方法)に定める「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせで表すマンセル表色系によるものとします。  
※代表する色相のカラーチャートを56ページに示します。



農と緑のゾーンの景観形成方針図

## ゾーンの景観軸及び都市拠点

景観軸	多摩丘陵軸	「黒川」、「岡上」、「早野」の「緑と農の3大拠点」をつなぐ連なりのある丘陵地の緑を生かして、農と緑が際立つ、素朴でのどかな景観の形成をめざす。
都市拠点	新百合ヶ丘駅周辺地区	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 緑と調和し、芸術と文化の香りがする落ち着きや暖かみを感じる景観の形成をめざす。</li> <li>2 商業、業務機能が集積した中心地では、華やかさがある中でも秩序ある景観の形成をめざす。</li> <li>3 背景の緑と調和した景観の形成をめざす。</li> </ol>